

newsletter vol.01 *fun* NOTE

Arc Communications Inc.



Greetings

早いもので、2005年10月1日にアイディーエスから営業譲渡を受け、新生アークコミュニケーションズとしてスタートしてから半年がたとうとしています。翻訳/ローカライゼーション・Web/クロスメディア制作・マニュアルライティング・人材派遣/紹介と4つの事業内容は同じですが、「器」が変わると、また違った目で自社のサービスを見直し、付加価値を追求できるものだとつくづく感じています。新しく立ち上げた人材派遣業が急速に成長し、企業がいかに弾力性のある優秀な人材を求めているか感じます。組織が活動を円滑に行う上での「コミュニケーション」を促進させるためのお手伝いを今後も取り組んでいきます。

株式会社 アークコミュニケーションズ
代表取締役 大里真理子

取締役紹介



取締役 木本 彰子 監査役 住田 裕子
取締役 間瀬 陽子 代表取締役 大里 真理子

Our Projects

翻訳

日英IT関連プロジェクト

ソフトウェア業界の翻訳というと「和訳」が主でしたが、最近では「英訳」の依頼も増えてきています。英語の表現力はネイティブ翻訳者の力を、正確性の向上や訳語やスタイルのばらつきを抑えるには日本人翻訳者の力を借り、各々の長所を生かしながら品質を高める努力をしています。

インフォテリア(株)：翔泳社から出版された『ASTERIA実践ガイド』を英訳しました。ASTERIAはDB、Web、メールなどをGUIで連携させるノン・コーディングの統合プラットフォームです。当社では、実機テストを行いながら、この本を英訳しました。

大手コンサルティング会社：1,500ページにも及ぶ仕様書の英訳を2カ月で完成させました。延べ10人に渡る翻訳者の品質のばらつきを抑えるため、チーフリングストの元、短期間で用語集とスタイルガイドラインを作成しました。また実作業中に発生した矛盾点の情報フィードバックのしくみづくりを行いました。

人材派遣

一般労働者派遣事業の免許を取得

お客さまが今まで以上に円滑に業務をアウトソースできるよう、従来の請負業務に加え、派遣業務も行っています。語学力やWeb制作能力など、専門性の高い人材を派遣します。

大手通信会社：Webサイト企画・制作、コンタクトセンターでの顧客対応、社内報制作などに人材を派遣した上で、コンサルテーションやサポートを含めた態勢を当社内にも整えています。

大手外資系会社：通訳・翻訳のかたわら、空き時間には関連する事務作業を行っています。また大量の翻訳が発生したときには当社で請け負うことにより、作業負荷の高低に柔軟に対応しています。

このように派遣先での仕事量や難易度に変化が生じた場合

は、臨機応変に当社の各部門からの連携サポートが受けられます。そこが他社の人材派遣サービスと一線を画する特長だと自負しています。ぜひご検討・お問い合わせください。

Web

学術分野でのプロジェクト

今回は「学術分野」のお客さまへのソリューション提供事例を2つご紹介します。

東京工業大学「21世紀COEプログラム ABSS」サイトリニューアル

文部科学省の16年度「21世紀COEプログラム」にエントリーされている東京工業大学の木嶋先生から、サイト制作のご依頼をいただきました。今回のオーダーは「8つの研究と3つのアプローチ、関わっているメンバーの連携を表現すること」「研究の有効性を強くアピールし、採択されたことの妥当性を訴える」こと。審査結果は10月。よい結果を心からお祈りしております。



<http://www.abss.titech.ac.jp/>

日本生化学会ホームページ

生化学の進歩と普及を目指す日本生化学会のHPIは、会員の増加と学会の活性を目的とした、リニューアルのご依頼でした。デザイン・コンテンツだけではなく、ドメイン取得、サーバー移行などWeb運営にかかわるすべても担当。サイト作成後は入会申し込み、人材募集をWebシステム化するなどの企画を立案し、構築しています。



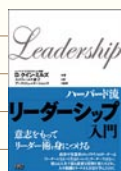
<http://www.jbsoc.or.jp/>



News

出版事業発足

ファーストプレスから、当社が翻訳・監訳を担当したクイン・ミルズ教授の『ハーバード流リーダーシップ「入門」』が出版されました。「リーダーシップはポジションにかかわらず発揮できるもので、後天的に学ぶ事ができるものだ」というメッセージに社員一同感銘を受け、奮闘努力中です。



この本を抽選で10名の方にプレゼントします。タイトルに「プレゼント本希望」とご記入の上、お名前と送付先を明記し、arc-c@arc-c.jpまでメールでご応募ください。(4/10締め切り) 尚、Amazon.co.jpでも発売中。
(http://www.arc-c.jpのTopicsからも入れます)

インターンこぼれ話

学生インターン3名が4月から新社会人として就職します。越智小百合さんは伊藤忠商事、志賀明奈さんは三菱東京UFJ銀行、そして小野研太郎さんはアークコミュニケーションズに入社します。越智さんと志賀さんに、『印象的だったこと』を聞いてみました。越智さんは、“席替えを10回以上したこと”に驚いたそうです。しばらくぶりに出社するといつも違う席になっているので「今日はどこ」と楽しみに転じたとか(ホント?)。また入ったばかりのアイディーエス当時は社長室脇の特権?で、細かく厳しくそしてやさしく(エクセルのコツまでも)熊谷さんから教えて頂いたことも印象的だったそうです。志賀さんの驚きは、“お菓子のなくなる早さ!”だとか(笑)。お土産のお菓子をカフェテリアに置いておくと、アツというまに空の箱だけに。のんびりしていて何度も食べそびれたとか。(なにごととも早期完了のアークの精神が徹底していたようです。ごめんなさい) どんな仕事も笑顔でこなし、細やかな心配りにも定評があったお二人です。今後のご活躍を心から応援しています。

HPからPreferred Vendorとして2回連続認定

前回に続き、ヒューレットパッカード社から2005年度も認定いただき、大変光栄なことと思っています。医療系計測機器を中心としたローカリゼーションにおいて“時差にも負けない迅速な対応”と“サービスの品質”が評価されたと自負しております。

Arc Translator of the Year発表

翻訳プロジェクトマネージャー全員で1年を振り返り、ご活躍くださった翻訳家の方々の中から選出しています。アイディーエス時代からの恒例行事でしたが、アークコミュニケーションズでも継続してまいります。2005年は次の方々へ、感謝を込めてお贈りいたします。

- 金賞：マーカス 真帆さん
- 銀賞：高崎 麻世さん
- 銅賞：平田 Jerace 智子さん

このほかにもたくさんの翻訳家の方々にご協力をいただき、おかげさまでアークは幸先の良いスタートを切ることができました。本年もどうぞよろしく願っています。

オフィスリニューアル

昨年末、入居している森伝ビルがオフィス内のリニューアルを行いました。壁も一新され絨毯張りのすてきな照明の廊下になり、別のオフィスに迷い込んだのかと見まがうほどで一同大感激! 電灯や水道がセンサー式でついたり消えたり出たり止まったりするのも驚きです。(いまや普通?)でも、まわりがキレイになると、これまで使っていた机やキャビネが薄汚く古く見えてしまうという困った現象が起き、せめて『整理整頓』でキレイに見せる努力を余儀なくされております。お近くにお越しの際は、ぜひオフィスを見にお立ち寄りください。



Arc Communications Feb. 27, 2006

Editor's Note

『fun NOTE』創刊号はいかがでしたか? 初桜とともに楽しんでいただけますと幸いです。

世界中につながるインターネットの時代に、あえて紙で伝えることにこだわり、私たちは春と秋に発信していきます。初のニュースレターをまとめる大役でしたが、楽しい仕事でした。日頃の業務のたまものでしょうか。スタッフ全員の納期管理能力と文章力は“ほぼ完璧”だったので、<ちまなこ>で編集作業に追われるなんて、ほんのちょっとだけでしたから。(編集人)